

試験と成績のつけ方について説明します。

・演習

7 月 21 日のテストが最後ですが、これは次回に返すと言うわけにいかないのので、郵送で返します。試験当日に住所を書くシールを回しますので、返却希望者はそれに住所氏名を書いてください。その週のうちに発送します。あるいは郵送がいやな人は、河東の部屋に取りに来てもらうことができます。(8/3~10の間は学会出張でデンマークに行っているため不在です。)

前に言ったとおり、悪い方から 2 回分を除いた残りの平均点が成績なんですが、単純にこの点数をつけるとどう考えても悪すぎるので、しかるべく「調整」した点数をつけて最後の答案とともに返します。普通であれば、この点数がそのまま公式の成績となりますが、期末試験で特にがんばった人はそれに応じてプラスアルファがつくことがあります。これは皆さんの試験の出来にもよりますが、これまでの例から言うと、該当者は 2, 3 人、最大でも 5 人程度だと思われます。

「調整」については、テストはまだ 2 回あるわけですが、これまでの成績で「悪い方から 2 回分を除いた残りの平均点」というのを仮に出してみると、(全然出席していない人を除いた) その平均点は 56 点、最高点が 97 点です。これだとたぶん 1.2~1.25 倍くらいすると言うことになるでしょう。

・数学 IA(講義の方)

これは期末試験の結果が成績になります。期末試験は 90 分で、自筆ノート持ち込み可(本や人のノートのコピーは不可)で行います。試験問題は 6 題出ますが、4 題できれば 100 点です。6 題中に、2 変数関数の極値を求める問題と、重積分の値を求める問題は必ず 1 題ずつ出ます。演習のテストが特によいのに、期末試験の方が今一步だった人には、期末試験の方にプラスアルファがつくことがあります。これも該当者はせいぜい 2, 3 人くらいでしょう。

こちら答案は郵送で返します。住所を書くシールをあとで回しますので、返却希望者はそれに住所氏名を書いてください。試験は 9/8(火)ですが、その週のうちに発送します。こちら郵送がいやな人は、河東の部屋に取りに来てもらうんですが、その週末から 3ヶ月ほどイタリア、イギリスに出張するので、私をつかまえるのは簡単ではないでしょう。